

「白石地区地域づくりフォーラム」アンケート集計表

- 実施日 : 令和5年5月25日(木)
- 当日参加者数 : 84 人
- 回答者数 : 63 人
- 回答率 : 75.0 %

1.お住まいの地区は？ [1つ〇]

区分	白石地区	越河地区	斎川地区	大平地区	大鷹沢地区	白川地区
人数(人)	39	2	5	3	0	1
割合(%)	61.9	3.2	7.9	4.8	0.0	1.6

区分	福岡地区	深谷地区	小原地区	市外
人数(人)	7	0	1	5
割合(%)	11.1	0.0	1.6	7.9

2.年代は？ [1つ〇]

区分	10歳以下	10代	20代	30代	40代	50代
人数(人)	0	0	2	0	4	13
割合(%)	0.0	0.0	3.2	0.0	6.3	20.6

区分	60代	70代	80歳以上
人数(人)	17	22	4
割合(%)	27.0	34.9	6.3

3.今回のフォーラムは参考になりましたか？ [1つ〇] また、その理由をお答えください。

区分	参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった
人数(人)	43	16	3
割合(%)	68.3	25.4	4.8

[理由]

●参考になった

- ・新潟の取り組みがわかって参考になった。
- ・「まちなか」の事例はあまり聞いたことがなかった。
- ・自分のできることをやっていく。
- ・他の市の取り組み方が参考になった。
- ・地域のコミュニティ化について当地区も実施しているのでは…
- ・課題をデータで知ることができた。実践事例について学ぶことができた。
- ・人口減少社会の現状とこれからの身近な問題として捉えられた。
- ・地区が違うので大変参考になりました。

- ・勉強になりました。そして自分たちがいかに高齢であり、今まで支える年齢だったが支えられる年齢になったのだと再認識しました。でも、時間の余裕出て、家計の余裕も出てくるのは、この年代なのです。
- ・白石以外の情報を多少知ることが出来た。
- ・ピラミッド、人口予想等、データから10年後の将来についてもっと問題にしていかなければならないことを実感したから。地域づくりだけでなく。
- ・他の方々の意見を聞くことができた。
- ・地域を考えるヒントがいろいろあった。
- ・子供たちを地域と関わらせる必要を改めて感じることができたから。
- ・小さな対話の回数をたくさんすること。
- ・目標に向かってやり方、迫り方はいくつもあり自分の地区で活かせるものを探し出すヒントになった。
- ・特に新潟市木戸地域の取り組みが参考になった。
- ・高齢者が増えた、施設に入って空き家に。雑草が増え除草する人がいない。若い人は無関心。コンビニで簡単にものが手に入る。
- ・コミュニティ推進協議会の在り方。
- ・自分の地区で何ができるか考えさせられた。
- ・地域コミュニティ協議会の活動について取り入れてやれる部分があるのではないかと思われた。
- ・住民が楽しい活動が多い。
- ・白石市内の人口比率・年度推移が把握できた。
- ・色々な取り組みがあるというのがわかった。
- ・テレビで見ている意味わからない。今日説明がはっきりして大変良かった。
- ・今日の話で自治会員にも聞かせたいと思いました。
- ・数字的にみると具体的に高齢化・人口減少を突き付けられた思い。
- ・白石地区の人口推移等。
- ・初参加、統計的な説明より将来予測に納得感があった。
- ・数字で見ることで街中がいかにやばいのかがよくわかった。
- ・高齢者社会の実感がわきました。
- ・現状と今後のお話をお伺いし勉強になりました。
- どちらともいえない
- ・地域づくりには人ではないと思うし、お金も不足している。
- ・白石市と新潟市の状況だけはわかった。
- ・市の実態に合わせた話(種まき時期・立ち上げ期)の話を参加者は聞きたいのではないかと思います。
- ・地域間格差があると思われる。
- ・具体的な課題とその解決策を聞きたかった。
- ・もう少し具体的な意見でいい方向になるのかを期待していましたが違っていました。
- ・町(都市)と私の住んでいる農村地帯では・・・？
- ・データでの斎藤先生のお話は参考になりましたが山賀先生のプレゼンの前に白石市のまちづくり

協の資料がほしかった。

- ・成功事例ばかりではなく失敗事例ややる気のある人をどう探していくのか等聞きたかった。
- ・結局何を言いたいかわからない。
- ・コミ協などすばらしいと思いますが、自発的にできる組織には思えない。
- ・地区の自治会の役員、子供会も役員をやってくれる方がいなくて困っています。初めの斎藤さんの話はとてもわかりやすく、地区の人口構成を考えても役員のなりて世代がいなかったことが数値からもわかるのを見て、納得でした。次の山賀さんのお話は正直解りにくかったと思います。事例がいま抱えている課題と合っていなかったように感じました。たとえば初めの挨拶でも役員のなりて不足が課題の一つと話していたのに、それに対する事例がなかったように思います。あったのかもしれませんが、〇〇地区の事例とっていつも次々に出されていましたが、新潟の地区の状況が話だけではわからなかったので、どこの自治会と同じような地区ですとか、これまでこういう課題があった地区ですといった補足をいただけるとよかったかなと思いました。

●参考にならなかった

- ・聞こえない(私のせい)。
- ・白石市のまちづくり協議会と大都市との一緒の考えにはならない。
- ・話のポイントがわからない。もっと白石市政に沿った話がほしかった。

4.感想などあれば自由にご記入ください。

- ・場所や条件は違いますが、事例を知る良い機会になりました。
- ・地域課題を共有していく機会になった。
- ・講話もためになったが、グループでの話し合いも考える深めるのによかった。
- ・日本中どこも人口減少社会の中でなんとかしていかなければ先に進むことはできないと思います。本日もフォーラムを通じてたくさんの学びがありました。ありがとうございました。
- ・各年代層が一緒に参加できるフォーラムを継続していただきたい。
- ・どの地区も同じ悩みを抱えているのになかなか解決できないようです。その糸口として、まちづくり協議会があればよいのかもしれないと思います。
- ・考え方が変わればよいと思った。
- ・全世代での話し合う機会が必要だなと感じた。
- ・逆転の発想で多世代間の交流ではなく、同世代の交流を深めていく必要があるかと思う。特に若者世代が交流を多く持てる場を提供することが少子化に歯止めをかける契機となるのではないかと思う。ルームシェアのできる寮をつくる、とか。市が、マッチングアプリを運営するとか。
- ・白石でも(旧町内)協議会を立ち上げるべきと考えます。話題にもなったが、資金は、権限は等々明確に示すことが必要になると思います。今までの自治会組織では具体的に変化は難しいように感じました。
- ・規模の同程度の成功例を聞いてみたい。
- ・若い世代をどう取り入れて地区の活動を進めていけばいいのか、早急に考えていかなければならないと強く感じました。
- ・人口減少の見える化を実感しました。地区のボランティア会員を増やすことが困難になりつつあります。

- ・団体がまとまることで情報量が増えるのですが、話し合いの回数など1人の仕事が増えることがわくて前に進めない気持ちです。
- ・新潟市の事例がたくさんありすぎました。もう少し的を絞って紹介してほしい。より具体的に。発表者と打ち合わせが必要ではないか。
- ・白石の規模に合う例があれば良。
- ・コミ協を立ち上げていくうえで、行政側と自治会との意見交換をもっと積み上げていく必要があるのではないかと思います。
- ・人口減少がこれほどまでに急激に来るとは考えていなかった。何もしなければ地域が消滅の危機を迎える。
- ・新潟の事例等はわかったが、それを白石でどのように活用していくのかいけるのかその辺が知りたくなった。
- ・白石の中でもまちなかの地区は中々まとまらない、団体同士が繋がらないと聞いた。質問のところで自治会長がきいていたことはわからないことはないが、なんとなく雰囲気として進まない理由を見せられた気がして同じグループ(若手チーム)ではとてもがっかりしていました。
- ・高齢者が多くなる社会構造だと、若い世代の声さがさらに届きにくくなる気がします。若い世代の声を拾うために、高齢者はどのようなスタンス、心持ちが必要なんでしょうか？
- ・地域民全体への今後の地域づくりの説明が必要と思う。
- ・地域の中には必ず「希望の種」との種を見つける工夫はどうすれば見つけられるのか具体的なアドバイスが欲しかった(自治会では難しい)。
- ・説明の語尾が聞き取りにくいので分かりづらかった。
- ・白石市の具体的な事例について話し合う時間も欲しかった。
- ・都市としては参考になりますが、農村地帯の今後の有様はまた別の考え方、方向性があるのか？
- ・たぶん白石市はもっと深刻なのかなと思います。ロールモデルをもう少し近い案件で示してほしい。強いて言えば白石のどこかの地区で実験してほしいです、こうするんだよって。
- ・もっと若い世代にも聞いてもらいたかったです。時間も1時間位で終わるようにしてもう少し敷居が低くて聞きやすい会だとよいと思います。言ったらグループになってて身構えてしまいます。
- ・内容がデータに基づいた通り一辺の内容。問題提起は理解できるが、現場状況と相違が感じられる。住民同士がつながり合うことは大切と思うが、今の時代人と関わりたくない人が多い。
- ・65歳以下の参加者が少なかったのが残念。
- ・白石のこれからの第1歩の踏み出し方がイマイチ見えてきませんでした。郊外の活性化についてもアイデアが(今の活動以外に)ありませんでした。
- ・課題解決に向けた市の取り組みや方向性がわからない。
- ・コミ協と白石まちづくり協議会が同じように見えました。
- ・うらやましい。学校の体育館を活用している。
- ・参加者を見ると行政と関係のある方が多く見受けられたので、これからの地域を考えなければならぬ年代の参加者が少なかったことは市民に理解してもらうために数年かかりそうな感じがした。

5.-①今後白石地区の地域づくりについて話し合う機会があったら、参加したいですか？ [1つ〇] また、その理由をお答えください。

区分	参加したい	前向きに検討する	参加しない
人数(人)	14	18	3
割合(%)	35.9	46.2	7.7

[理由]

●参加したい

- ・今の動きも一歩前に進めるのには…
- ・今日は中途半端だったから。
- ・豊かで充実した生活を送るために衆知を集める必要があると思います。
- ・高齢者が多く若者が少なすぎるため。
- ・さらに考えを広め、深めたい。
- ・もっと白石にある身近な問題についてお聞きしたいです。

●前向きに検討する

- ・若い人の参加も多いほうが参加しやすいです。
- ・自分たち、子供たちのこれからについて。
- ・地域住民・地元企業で皆様と共に地域のために生活活動してきていることから市の将来を考える。30~40代で貢献できる人材を見出すことが重要であると思う。
- ・地域の活性化に向けて、今アクションを起こさなければ地域が消滅してしまう。
- ・時代に合った地域にしたい。知恵はないですが…
- ・今後も白石市に住み続けるうえでより楽しく暮らしたい。
- ・白石を住みよいまちにしたいから。
- ・当自治会においても高齢者世帯が年々増えている。
- ・もっと諸問題について話してみたい。
- ・ただ話し合うのではまとまらないと思うので参加しないと思う。方向性としてのたたき台が出来たら参加したい。
- ・考えながら参加したい。

●参加しない

- ・年齢的に(高齢者のため)。
- ・今日のような状況では参加の意味がない。